

子どもの本だな 126

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

まほうの馬 ロシアのたのしいお話

A・トルストイ M・プラートフ 文
高杉一郎 田中 泰子 訳
E・ラチヨフ 絵 (岩波書店)

ある時、王さまが3人の王子に矢を射させ、矢が落ちたところにいる娘と結婚するようにいきました。2人の王子の矢はそれぞれ貴族と商人の屋敷に落ちました。ところが、末のイワン王子の矢は沼に落ち、王子はカエルと結婚しなければなりません。結婚式のあと王さまに作るようにいわれた丸パンもじゅうたんも、カエルは見事に仕上げます。そしてカエルは、たくさんの従者と金色にかがやく馬車にのり、美しいかしこいワシリサになって王さまの宴会にあらわれました。

(「カエルひめ」)

ロシアの広大な大地で生まれた想像力豊かでユーモアのある昔話集です。絵本『てぶくろ』の画家ラチヨフの挿絵が物語をいきいきと感させ、楽しく読むことができます。読んでもらえば4歳から。

(西村)

図書館の本棚 454

日本の自然をいただきます 山菜・海藻をさがす旅

ウイニフレッド・バード 著 上杉 隼人 訳 (亜紀書房)

アメリカ人ジャーナリストの著者が、日本に住んでいた8年間に各地に足を運び、日本の天然食物とその歴史や文化などを調べ、まとめた本書には、山菜や海藻の魅力が詰まっている。

長野県に住んでいた時に出会った85歳の伴貞子さんは、著者が憧れる簡素ながら優雅で清潔な生活を体現している女性だった。家を訪れるたび季節の旬のものを出してくれ、春には森へ行き一緒に山菜摘みをした。ツクシ、ナズナ、ワラビ、コゴミ、タラの芽、アザミなどを摘みながら調理法などを教わったこともある。山菜の魅力を知った著者は、自然を採取し食す日本の習慣やその歴史的背景などに興味をもち、日本各地を巡りはじめた。

岩手県西和賀町はワラビの名産地だ。豪雪地帯のこの地では、昔から非常食としてワラビを重宝してきた。ワラビの根から精製した本ワラビ粉で作られる「本ワラビ餅」は非常に繊細で、30分以上たつと風味がそれてしまう。できあがるまでの過程も詳細に書かれ、職人の手で丁寧につられる様子がよくわかる。古い文献や『源氏物語』などの古典作品にも出てくるほど、ワラビは馴染み深い山菜のひとつだ。ところが、世界のワラビの評価は全く違い、植物界のゴキブリだという。どこにでも発生し、根絶不可能な「世界最悪の雑草の1種」なのだそう。日本とのあまりの違いに驚くが、こういった外からの視点がかかれるのも面白い。

熊本県の山菜、滋賀県の栃の実、岩手県の蕨、京都府・秋田県の筍、徳島県のはじめ、石川県能登半島のカジメや海苔、北海道のアイヌ伝統料理……。著者は、日本各地を訪れ、現地の声を聞き、自然の恵みを存分に味わいながら調査していく。日本の天然食物採取文化や歴史的経緯などが、『万葉集』や『新古今和歌集』なども織り込まれながら丁寧にとめられている。日本人がこの国の豊かな自然の食物に興味を持ってくれたらうれしいと著者は言う。その通り、この本を読んで久しぶりにツクシやワラビを摘みに行きたくなった。

(池之上)

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。



5月の おはなし	小さい人 (4歳~小学2年生) 11:00~11:30	大きい人 (小学3年生~中学生) 11:30~12:00
4日(土)	ヤギとオオカミ	七わのからす
11日(土)	雌牛のブーコラ	ラプンツェル
18日(土)	おばあさんとぶた	ブケッティーノと鬼
25日(土)	三びきのくま	食わず女房

5月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			X	2	3	4
5	6	X	X	X	10	11
12	13	X	15	16	17	18
19	20	X	22	23	24	25
26	27	X	29	30	X	

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	X	5	6	7	8
9	10	X	12	13	14	15
16	17	X	19	20	21	22
23	24	X	26	27	X	29
30						

▶ X印は休館日
 ・祝日の振替休館
 5/1、5/8、5/9
 ・館内整理日
 5/31、6/28
 ※閉館時は返却ポストを
 ご利用ください。
 ▶ 開館時間：
 10:00~18:00
 ※金曜日のみ
 10:00~20:00

5月	6月	5・6月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
16日	13日			福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50
23日	20日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
30日	27日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20	塚森 地域内 15:00~ 15:20	太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20



地下水

キャベツのなかの青虫をうらやましいと思ふことはないですか？大好物にくるまれているという点だけでだが、私は「いいな」と思ってしまう。やわらかく甘い部分をむしやむしや食べ、ぐうぐう寝る、を繰り返しているにちがいない。

ある日の昼休憩は、職員Aさんの育てるトマトを話題に始まった。トマトは匂いを出し危険を仲間に知らせるらしいが、その匂いは青虫には効かず、Aさんのトマトは青虫に食い荒らされる。青虫は勢いよく植物を食べつくしていくが、好物でも、貧相な状態の植物に生みつけられた個体は次の餌場をどうやって探すのか、親は食料の多い、少ないを見極めてくれないのか、と青虫の暮らしむきの心配までして休憩を過ぎた。

図書館西側の草が勢いよく育ち、朝の10分程度の作業では除草が追いつかない。自分がヤギなら喜んで食べてやるのにと生い茂るカラスノエンドウを引きちぎる。きれいになったと満足しても、何日かするとまた緑が現れる。「うちの植物にはどれもよく虫がつく」とAさんは残念そうに言われるが、きれいに食べつくしてくれるなら、一度Aさん宅の虫を図書館に招きたい。
 (竹内)